

令和8年 甲斐市議会 第1回定例会 一般質問(通告順)

月 日	質問議員	質 問 事 項
2月27日 (金)	加藤 敬徳 (公明党)	防災のための空き家解体
		積み残し案件の市民への周知
		保護猫・地域猫活動へのサポート
	谷口 和男 (日本共産党 甲斐市議団)	学校給食費無償化を急げ
		甲斐双葉発電所の木質バイオマス発電事業の現実について
		玉幡公園総合屋内プール再開に向けて
		市職員の待遇改善と人材確保を
	樋口 孝之 (新政会)	自治会活動の課題と今後について
		高齢者の現状と対策について
3月2日 (月)	山本 英 (創政甲斐クラブ)	カスタマーハラスメントについて
		学校現場における教員の業務適正化について
	若尾 彰子 (甲斐のさくら)	人生の最終段階まで支え合う地域づくりへの取り組み
		職員の人材確保、キャリア形成における取り組みについて
	保坂 康 (創政甲斐クラブ)	学校給食の現状について
	松井 豊 (日本共産党 甲斐市議団)	防災体制の充実のために
		広域農道全通に伴う、市中北部の振興について
		いくつかの課題について
	金丸 寛 (無党派)	真冬の超短期決戦について
		子供達の現状について

令和8年 第1回定例会 一般質問（質問要旨）

令和8年2月27日（金）

No. 1

質問議員	質問事項
加藤 敬徳 公明党	<p>防災のための空き家解体</p> <p>(1) 甲斐市として解体するのが望ましいと考える空き家はどのようなものか。</p> <p>(2) 市内には老朽化などにより用途がなく、防災や安全の観点から解体が望ましいと考える空き家はどのくらいあるか。</p> <p>(3) 解体するのが望ましいと考える空き家については、防災等の観点からいつまでにどこまで減らしていくといった計画や目標はあるか。</p> <p>(4) 解体するのが望ましいと考える空き家の解体への補助金は、どのようなものがあり、活用するにはどのような要件があるのか。</p> <p>(5) 費用がかかることが要因で解体に踏み切れない市民に対して、補助金交付の要件を緩和するなど、検討すべきと考えるが伺う。</p>
	<p>積み残し案件の市民への周知</p> <p>(1) 住民や自治会などから受けた相談や要望は年間何件あるか。</p> <p>(2) 年度をまたぐ所謂「積み残し」案件は現在どのくらいあり、それについて相談・要望した市民・自治会への説明はしているのか。</p> <p>(3) 数ある案件を処理するにあたり所謂「緊急度・重要度」の順位はどのように決めているのか。</p> <p>(4) 依頼された案件に問い合わせ番号などを付け、相談・依頼者が進捗状況を把握できるような仕組みを導入すべきと考えるが見解を伺う。</p>
	<p>保護猫・地域猫活動へのサポート</p> <p>(1) 本市に於いて、飼い主のいない猫に関わる保護猫や地域猫の問題についてはどう考えているか伺う。</p> <p>(2) 保護猫・地域猫活動については、ボランティアを頼りにするのではなく、行政が行うべきという意見があるが、市の見解を伺う。</p> <p>(3) 本市はどうぶつ基金行政枠を導入したが、活用実績を伺う。</p> <p>(4) 本市は「キャットサポーター制度」を設けているが、その目的と内容を伺う。</p> <p>(5) 山梨県は「地域猫活動支援事業補助金」を交付しているが、本市も活動がしやすくなるよう、この事業を導入すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(6) 個人の活動ボランティアが地域住民から活動の理解を得るため、市の広報、ホームページ等で地域猫活動を周知したらどうか伺う。</p>

令和8年 第1回定例会 一般質問（質問要旨）

令和8年2月27日（金）

No. 2

質問議員	質問事項
<p>谷口 和男 日本共産党 甲斐市議団</p>	<p>学校給食費無償化を急げ</p> <p>(1) 子育て支援として国・県から、子ども一人当たり4万円が支給されるが、学校給食費無償化の方がありがたいのではないかと。</p> <p>(2) 国の負担軽減として小学校給食費一人5,200円補助するとの事だが、中学校の給食費、保育の副食費、三歳未満児の保育料はどうするのか。</p> <p>(3) 国が補助金を交付するようになったのは、地方自治体が無償化したことや、多くの政党から要望があったためと思われる。甲斐市も自ら無償化したうえで補助金を要請すべきではないか。</p>
	<p>甲斐双葉発電所の木質バイオマス発電事業の現実について</p> <p>(1) 甲斐双葉発電所の説明では燃料材供給は県内業者から30%の仕入れで、県産燃料材かどうかは不明との事だが、この状況で甲斐市・山梨県の森林整備に役立っているのか。県産燃料材活用の努力はされているのか。</p> <p>(2) 2023年6月の火災は、上限を上回る木くずの積み上げが原因だったが、甲斐市・消防団等に謝罪はあったのか。</p> <p>(3) 発電所用地の購入造成費用を借地料として回収するには50年かかるが、営業計画期間は20年になっている。20年では地球温暖化防止に役立たないと思うが、20年経過後も営業を継続するのか。</p> <p>(4) この発電所の固定資産税納入状況について伺う。</p>
	<p>玉幡公園総合屋内プール再開に向けて</p> <p>(1) 現在、実施設計をすすめているが、シャワー室周辺だけでなく建物全体の老朽箇所・不具合など検査しているのか。</p> <p>(2) 2024年シャワー室天井板破損事故原因調査結果について、議会へは口頭報告のみだったが、市民からの情報公開請求により調査結果報告書が開示された。今回の実施設計はもう少し丁寧な報告をして頂けないか。</p> <p>(3) 市民の要望の中に家族で楽しめるようなプールが欲しいとの声も上がっている。既存の施設に新たな魅力的なものを追加できないか。</p> <p>(4) かまなしの湯は統廃合で閉鎖されるが、源泉を残す理由を伺う。</p>
	<p>市職員の待遇改善と人材確保を</p> <p>(1) 30代以上の職員の退職人数と、考えられる退職理由について伺う。</p> <p>(2) 昨年度の給与は20代職員を重点的に引き上げたが、30、40、50代職員の給与上昇率はいくらか伺う。</p> <p>(3) 甲斐市でも会計年度任用職員の活用などがされているが、最終的な判断をするのは正職員である。正職員の負担が増えていないか。</p> <p>(4) 選挙事務、イベント等で休日出勤が多々あるが、振替休日などは取れているか。</p>

令和8年 第1回定例会 一般質問（質問要旨）

令和8年2月27日（金）

No. 3

質問議員	質問事項
樋口 孝之 新政会	<p>自治会活動の課題と今後について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 地域コミュニティの弱体化に対する認識と、地域コミュニティを維持するための支援の必要性についての考えを伺う。(2) これからの自治会への加入促進の進め方を伺う。(3) 本市も理念条例を制定し、任意組織の自治会が行政の後ろ盾となる位置付けが必要ではないか伺う。(4) 高齢化や自治会員の減少で市との協働が困難になっていくと思われるが、将来に向けて行政運営をどのようにするか伺う。
	<p>高齢者の現状と対策について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画で、最重要事項及び、取り組みの状況を伺う。(2) 本市の具体的な認知症予防対策及び、他の市町村に先駆けた取り組みはあるか伺う。(3) 高齢者のスマートフォンの利用に対し、補助金の交付や講習会の開催など、本市の対応を伺う。(4) 今後増えていく、一人暮らし高齢者に対する特別な配慮はあるのか伺う。(5) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について、年間開催回数、参加人数、参加者からの要望等を伺う。(6) 年金受給者が支援を受けられる制度があるか、支給要件、手続等を伺う。(7) 高齢者宅の公共下水道切り替えに対し、補助金を出す考えはあるか伺う。

令和8年 第1回定例会 一般質問（質問要旨）

令和8年3月2日（月）

No. 1

質問議員	質問事項
<p>山本 英 創政甲斐 クラブ</p>	<p>カスタマーハラスメントについて</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 本市におけるカスタマーハラスメント対策について(2) 市職員に対するカスタマーハラスメント現状対策について(3) 市ガイドライン(要綱)の整備と「線引き」の明確化について(4) 録音・記録体制の整備(対応のエビデンス確保)について(5) 抑止策(ポスター掲示、窓口表示、市民周知)について(6) 悪質事案への対応体制と職員のメンタルケアについて
	<p>学校現場における教員の業務適正化について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 教員の業務の三分類と本市における周知について(2) 保護者からの要望・苦情への対応に関する現状認識について(3) 外部支援体制の活用と窓口相談の検討について(4) 教員が働きがいを持って教育に専念できる環境づくりについて(5) 教員の業務適正化と休日部活動展開について(6) 認定地域クラブ活動における国の支援について(7) 休日部活動地域展開の推進について
<p>若尾 彰子 甲斐のさくら</p>	<p>人生の最終段階まで支え合う地域づくりへの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 本市の重層的支援体制整備事業の目指す方針と進捗状況(2) 令和8年度本格事業化に向けた課題(3) 国からの交付金削減の方針に対する本市の対応(4) 本市のACPへの認識と取り組み状況(5) 地域包括ケアシステムにおける本市の人生最期に向けた取り組みと課題
	<p>職員の人材確保、キャリア形成における取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 職員採用の方針(2) 人事異動の方針(3) 職員個人のキャリア形成における取り組み(4) 組織機構改革による職員のキャリアパスへの影響(5) 職員が働き続けたいと思える取り組み

令和8年 第1回定例会 一般質問（質問要旨）

令和8年3月2日（月）

No. 2

質問議員	質問事項
<p>保坂 康 創政甲斐 クラブ</p>	<p>学校給食の現状について</p> <p>(1) 学校給食はどこで作られているのか伺う。</p> <p>(2) 甲斐市では学校給食に補助を実施しているが、今までどの様な推移で補助をしてきたのか伺う。</p> <p>(3) 補助金の増額はどのような基準で行われているのか伺う。</p> <p>(4) 学校給食の食材はどの様な仕入れで行われているのか伺う。</p> <p>(5) 管理栄養士・栄養士・調理師の人数はどの位いるのかを伺う。</p> <p>(6) 特別食(お楽しみ給食等)はどのような時に提供されるのかを伺う。</p> <p>(7) 教職員の補助はあるのかを伺う。</p> <p>(8) 学校では食育の指導をしているのかを伺う。</p>
<p>松井 豊 日本共産党 甲斐市議団</p>	<p>防災体制等の充実のために</p> <p>(1) 自治会の防災担当者は1～2年で交代するのではなく、消防団・防災リーダー経験者等に、最低数年位は務めてもらうべきではないか。</p> <p>(2) 防災リーダーは市内に何人いるか。資格取得後、全体を対象に定期的な研修、経験交流などを行っているのか伺う。</p> <p>(3) 地域防災リーダーネットワークの活動において、研修、印刷などの経費が自己負担なので、市でも何らかの助成をすべきではないか。また実際の災害に対応する自治会との連携はどうなっているのか伺う。</p> <p>(4) 災害弱者（独居老人、障がい者等）への対応は各自治会ごとにどの様になっているのか伺う。</p> <p>(5) 鳥獣害対策への補助金は現況どうなっているのか。また、今後補助金の拡大の予定があるのか伺う。</p>
	<p>広域農道全通に伴う、市中北部の振興について</p> <p>(1) 改めて、広域農道全通の時期と、長潭橋開通の時期について伺う。</p> <p>(2) 現在の中北部の産業（農林業、観光等）の実態について伺う。</p> <p>(3) クラインガルテン、矢木羽湖等の発展的活用、新たな施設などの計画、民間施設等との連携について伺う。</p> <p>(4) 市バイオマス発電による発電量と熱利用について、また、木材の活用状況（全体量とそれに占める市内の木材の量と比率）について。</p> <p>(5) 市内の森林の伐採に伴い、持続可能な森林（森）づくりの施策が必要だが市の計画について伺う。</p> <p>(6) 交通量の増大に伴い、道路標識・案内板（日本遺産・文化財）の計画について伺う。</p>

令和8年 第1回定例会 一般質問（質問要旨）

令和8年3月2日（月）

No.3

質問議員	質問事項
<p>松井 豊 日本共産党 甲斐市議団</p>	<p>いくつかの課題について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 物価高騰の中で、障がい者の実質年収は下がり続け、年収 200 万円以下の割合は 97.2%となっている。市の独自支援が必要だがどうか伺う。(2) 社会全体で賃上げが進んでいるが、障がい福祉職員の賃金は低いままで、職員不足は危機的状況にある。施設運営についても市の支援が必要だが伺う。(3) 父母の離婚後の子の養育に関するルールが改正されることを受け、市の担当者がどう関わるかが問われている。市の考えを伺う。(4) 海外交流について、最近発展の著しいアジアへも目を向けて友好交流を考えてはどうか伺う。(5) 環境副読本の配布は小学5年生で1度限りだが、中学2年生くらいで新たに配付が必要と考えるが、市の考えを伺う。(6) パブリックコメントへの提案が0~2件程であり、プランに関わる関係者・団体への資料送付等により関心を高める必要があると思うが、市の考えを伺う。
<p>金丸 寛 無会派</p>	<p>“真冬超短期決戦”について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 前回の衆院選から1年3ヶ月、この時期の解散を市長はどう感じたかを伺う。(2) 議院内閣制を採る我が国の憲法上「私が…」と言うのは論理的に無理があると思うが市長の見解を伺う。(3) “解散権”は“首相の専権事項”だと言われるが異論もある。市長の見解を伺う。(4) 4年の任期を勤めることが国民にとっても必要だと思うが、市長の見解を伺う。(5) 市長が“特定政党候補者”の“選对本部長”を務めたことに、多くの市民が疑問を持っているがこの点を説明して欲しい。(6) “市長”は公職であり“選对本部長”は私的なものだと考えられるが見解を伺う。 <p>子供達の現状について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 不登校の現状を伺う。(2) 教育現場での“AI”の活用状況を伺う。(3) 子供の発達に“AI”が及ぼす影響はどうか伺う。(4) “国が負担する”“学校給食費無償化”の進捗状況を伺う。(5) 通学路の危険箇所は解消されたか伺う。